

国家検定

令和7年度後期 技能検定受検案内 技能五輪長崎県大会案内

長崎県職業能力開発協会

〒851-2127

西彼杵郡長与町高田郷 547-21

技能・技術向上支援センター内

TEL:095-894-9971 FAX:095-894-9972

<https://www.nagasaki-noukai.or.jp>

登録番号：T1310005001853

技能検定とは

技能検定とは、労働者の有する技能を一定の基準により検定し、これを公証する技能の国家検定制度です。技能者の技能修得意欲を増進させ、社会的な評価の向上を図り、ひいてはわが国の産業発展に寄与しようとするものです。

技能検定に合格した方には、特級、1級及び単一等級は厚生労働大臣名の、2級及び3級は長崎県知事名の合格証書が交付され、技能士と称することができます。（等級区分は職種によって違います。）

◆本人確認書類・在職証明についてはP4を必ずご確認ください。

◆職種・作業によっては、免許又は技能講習・特別教育等の資格証の携帯が義務付けられています。
P10～16の実技試験の概要をご確認ください。

1. 実施日程

受付期間	令和7年10月2日(木)～令和7年10月15日(水) ※土・日を除く ※当日消印有効	
実技試験	問題公表	令和7年11月28日(金) ※日時・試験会場を記載した受検票と実技試験問題を順次発送いたします。 なお一部の作業試験については問題概要のみの公表になります。
	実施期間	令和7年12月5日(金)～令和8年2月15日(日) ※上記期間のうち長崎県職業能力開発協会が指定する日となります。
学科試験	令和8年1月25日(日)・2月1日(日)・2月8日(日) ※全国统一実施のため、職種によって試験日時が決定しています。P5・6の実施職種・実施日をご確認ください。日時・試験会場については、あらためて受検票で通知いたします。	
合格発表	令和8年3月13日(金)	※合格発表の詳細についてはP3をご覧ください。

2. 受検申請から合格発表日までについて

(1) 受検申請について

令和7年10月2日(木)～10月15日(水)の受付期間に必要書類を、郵送もしくは窓口へ提出してください。

①提出書類

- ・受検申請書 (写真は縦4cm×横3cm 申請前6ヶ月以内に撮影した正面脱帽上半身のもの)
(記入例はP17 受検資格はP7 免除資格はP8 をご覧ください)
- ・本人確認書類 (P4をご覧ください。また2・3級を受検する23歳未満の在職の方は在職証明等の提出も必要です。)
- ・受検手数料の納付が確認できる書類
- ・免除の証明書類のコピー(一部合格通知・合格証書等のコピー)後日判明しても免除できません。
- ・一括送付用の一覧表

〈一括送付用一覧表の例〉

職種	作業	級	氏名	実技試験	学科試験	手数料額	備考
配管	建築配管作業	1級	長与 次郎	18,200円	3,100円	21,300円	
機械検査	機械検査作業	2級	長崎 一郎	9,200円	3,100円	12,300円	35歳未満
シーケンス制御	シーケンス制御作業	3級	長崎 花子	免除	3,100円	3,100円	
合 計			3名	27,400円	9,300円	36,700円	

②提出方法

窓口の場合 当協会の窓口へ申請期間中(平日8:45～17:30)に持ち込みしてください。手数料は、現金でも可能です。お釣りがないようにご準備ください。

郵送の場合 当協会あてに郵送してください。手数料を現金で納める場合は、必ず現金書留として受検申請書と一緒に郵送してください。10月15日(水)の消印有効です。

〒851-2127 西彼杵郡長与町高田郷 547-21
提出先 長崎県職業能力開発協会 職業能力検定課
 TEL 095-894-9971 FAX 095-894-9972

銀行名…十八親和銀行(金融機関コード0181)
 支店名…時津中央支店(支店コード112)
 口座種別…普通 口座番号…1040979
 口座名義…長崎県職業能力開発協会

③受検手数料(消費税非課税)

- ・平成29年度後期試験から実技試験手数料の減免措置が拡充されました。
(学科試験手数料は変更ありません。)なお、減免措置対象者は、日本国籍を有し、または、出入国管理及び難民認定法別表第二に規定する永住者に限ります。
全職種・全作業とも下表のとおりとなります。(免除または受検しない試験についての受検手数料は不要です。)

令和7年4月1日時点の年齢		受検手数料		
		実技試験	学科試験	計
特級	全年齢	18,200円	3,100円	21,300円
1級	全年齢	18,200円	3,100円	21,300円
単一等級	全年齢	18,200円	3,100円	21,300円
2級	35歳以上の方(平成2年4月1日生以前)	18,200円	3,100円	21,300円
	35歳未満の方(平成2年4月2日生以降)	9,200円	3,100円	12,300円
3級	35歳以上の方(平成2年4月1日生以前)	18,200円	3,100円	21,300円
	35歳未満の方(平成2年4月2日生以降)	9,200円	3,100円	12,300円
	職業高校等在学中で、35歳未満の方 (平成2年4月2日生以降)	3,100円	3,100円	6,200円

④留意事項

- ・実技試験、学科試験の両方免除の場合は全職種（前期・後期）とも受検申請できます。
※両方免除の場合、写真及び手数料は不要です。
（詳細は、長崎県職業能力開発協会までお問い合わせください。）
- ・受検手数料については実技試験手数料と学科試験手数料を同時に納入してください。
（免除または受検しない試験についての手料は不要です。）
また、受付完了後は受検手数料についてはいかなる理由があっても返金は出来ません。
- ・実技試験について、受付人員及び設備等の制約のため、他県で受検していただく場合や実技試験を取り止める場合があります。
- ・学科試験は全国統一の日程で実施されます。
また、一部の実技試験についても全国統一の日程で実施されます。P 5～6をご覧ください。
- ・学科試験について、各地区の受検者が少ない場合は、他の地区で受検していただく場合があります。
- ・受検資格の判定に必要な場合は、証明書類を別途提出いただく場合があります。
- ・機械設備の関係で、作業によっては受検者の事業所等を試験会場に指定する場合があります。

（２）試験日時および受検票の発送について

実技試験及び学科試験の試験日時、会場、その他注意事項等については受検票で通知します。受検票は、問題公表日11月28日以降に順次発送いたします。12月中旬頃までに受検票がお手元に届かない場合は当協会までご連絡ください。また試験日には必ず受検票を持参してください。

（３）合格発表日について

令和8年3月13日（金）に合格発表いたします。

◎技能検定合格の方

長崎県雇用労働政策課のホームページ（<https://www.pref.nagasaki.jp/section/koyo/>）で合格者の受検番号を掲示します。また、長崎県職業能力開発協会より合格者に文書で通知いたします。

合格者とは

- ①実技試験及び学科試験の両方に合格された方
- ②実技試験が免除で、学科試験に合格された方
- ③学科試験が免除で、実技試験に合格された方
- ④実技試験及び学科試験の両方が免除の方

◎実技試験・学科試験の一部合格の方

実技試験又は学科試験の一方に合格された方には、「実技試験一部合格通知」又は「学科試験一部合格通知」をお送りします。

なお、この一部合格通知は今後技能検定を受検される場合、免除資格の証明になりますので、大切に保管してください。

不合格の方には通知しませんのでご注意ください。

◎その他

- ・申請後に住所、氏名等が変更になった場合は必ず長崎県職業能力開発協会に連絡してください。
変更の連絡がなく、長崎県職業能力開発協会からの通知等が届かない場合は責任を負いかねます。
- ・ご不明な点は、長崎県職業能力開発協会「職業能力検定課」にお問い合わせください。

3. 本人確認書類について

受検申請をされる方は、次のいずれか1つのコピーを受検申請書と同時に提出してください。

- ① 運転免許証（裏面に記載がある場合は、裏面もコピーしてください）
個人番号カード（マイナンバーカード個人番号が記載されている箇所は黒塗りすること）
その他の日本の官公庁が発行した身分証（氏名及び生年月日が確認できるものに限る）
- ② 特別永住者証明書、在留カード
- ③ 健康保険被保険者証
- ④ 学生の方は、生徒手帳、学生証、在学証明書のいずれか
（氏名および生年月日が確認できるものに限る）

2・3級を受検する23歳未満の在職者の方

上記の本人確認書類のコピーに加え在職を証明する書類が必要です。

(1) 健康保険証に事業所名称の記載がある場合

氏名・生年月日・事業所名称が確認できるため1枚のみの提出で可能です。

(2) 健康保険証に事業所名称の記載がない場合

氏名・生年月日が確認できる書類（運転免許証、健康保険証等のコピー1部）に加え在職証明書、雇用保険被保険者証のコピー、給与明細のコピーいずれか1部の提出が必要です。

雇用保険被保険者証

<キリトリ> 雇用保険被保険者資格取得等確認通知書 (被保険者通知用)		通知書
〇〇〇公共職業安定所長		公共職業安定所長印
被保険者番号	確認(受理)通知年月日	取得時被保険者種類
0000-000000-0	RO10802	1 又は9 一般 4 又は5 高年齢 2 又は3 短期 11 高年齢(65歳以上)
被保険者氏名	生年月日 (元号-年月日)	資格取得年月日
ケンテイ タロウ	4 100402	RO10801
事業所名称	転勤の年月日	
株式会社 △△		

在職証明書

様式については、任意ですが、氏名・生年月日、在職期間は必ず記載してください。

在職証明書	
長崎県職業能力開発協会 様	
下記の者は、当社に在職していることを証明します。	
氏名	フリガナ
生年月日	昭和・平成 年 月 日
住所	〒
入社年月	平成・令和 年 月
所属部署	
令和 年 月 日	
事業所所在地 〒	
事業所名称	
事業主氏名	
電話番号	

給与明細

氏名、事業所名が記載されているもの。
金額の部分は黒塗りしてください。

給与明細書						
2025年3月分						
株式会社△△						
所属 製造部第一課						
氏名 検定 太郎様						
勤怠	労働日数	労働時間	残業時間			
支給	基本給	扶養手当	住宅手当	地域手当	資格手当	総支給合計
控除	健康保険	厚生年金	雇用保険	所得税	住民税	控除合計

※ご不明な場合は、事前に長崎県職業能力開発協会へお問合せください。

実施職種・実施日

令和7年度（後期）技能検定学科試験、実技試験（判断等試験及び計画立案等作業試験）における関係法令、JIS等の各種規格等の記載に基づく出題については、原則として令和7年4月1日時点で施行されている内容に基づくものとします。ただし、職種（作業）ごとに、実作業の現場における状況等を勘案し、一般的に普及しているものに基づく場合もあります。

- ・ 学科試験日の欄に記載されている日時は、全国統一の実施日程です。
- ・ 実技試験日の欄に○印のみで指定日の記入がない職種（作業）については、令和7年12月5日（金）から令和8年2月15日（日）のうち当協会が指定する日に実施します。
- ・ 日付の入っているものは全国統一の実施日程です。
- ・ 計画立案等作業試験欄の①は、1級のみが対象です。

特 級（実技試験概要はP10をご覧ください）

※受検票の実技試験欄は旧名称で記載されています

職 種 名(下記の25種類)	学科試験日	実技試験日		
		製作等作業試験 (旧作業試験)	判断等試験 (旧要素試験)	計画立案等作業試験 (旧ペーパーテスト)
鑄造・金属熱処理・機械加工・※非接触除去加工(旧放重加工)・金型製作・ 金属プレス加工・工場板金・めっき・仕上げ・機械検査・ダイカスト・電子機器組立て・ 電気機器組立て・半導体製品製造・プリント配線板製造・自動販売機調整・ 光学機器製造・内燃機関組立て・空気圧装置組立て・油圧装置調整・ 建設機械整備・婦人子供服製造・紳士服製造・プラスチック成形・パン製造	R8.2.1 9:45 集合			R8.2.1 13:00 集合

1級・2級（実技試験概要はP10～14をご覧ください）

※受検票の実技試験欄は旧名称で記載されています

職 種 名	作 業 名	学科試験日	実技試験日		
			製作等作業試験 (旧作業試験)	判断等試験 (旧要素試験)	計画立案等作業試験 (旧ペーパーテスト)
さ く 井	ロータリー式さく井工事作業	R8.2.1 13:00 集合		R8.1.18	R8.1.18 8:45 集合
工 場 板 金	機械板金作業	R8.2.1 13:00 集合	◎		
工 場 板 金	数値制御タレットパンチプレス板金作業	R8.2.1 13:00 集合	◎		
ロ ー プ 加 工	ロープ加工作業	R8.2.8 13:00 集合	◎		
機 械 検 査	機械検査作業	R8.1.25 9:45 集合	◎		R8.1.25 13:00 集合
※ シ ー ケ ン ス 制 御 (R4年度まで電気機器組立て)	シーケンス制御作業	R8.1.25 9:45 集合	◎		R8.1.25 13:00 集合
半 導 体 製 品 製 造	集積回路チップ製造作業	R8.2.8 9:45 集合		R8.1.25	
プ リ ン ト 配 線 板 製 造	プリント配線板設計作業	R8.2.8 9:45 集合		R8.1.25	
空 気 圧 装 置 組 立 て	空気圧装置組立て作業	R8.2.8 13:00 集合		R8.1.18	R8.1.18 8:45 集合
油 圧 装 置 調 整	油圧装置調整作業	R8.2.1 9:45 集合	◎		R8.2.1 13:00 集合
農 業 機 械 整 備	農業機械整備作業	R8.2.1 9:45 集合	◎		R8.2.1 13:00 集合
冷 凍 空 気 調 和 機 器 施 工	冷凍空気調和機器施工作業	R8.2.1 9:45 集合	◎		R8.2.1 13:00 集合
和 裁	和服製作作業	R8.2.1 9:45 集合	◎		
帆 布 製 品 製 造	帆布製品製造作業	R8.2.8 9:45 集合	◎		
ブ リ プ レ ス	DTP作業	R8.2.8 9:45 集合	◎		
石 材 施 工	石材加工作業	R8.2.1 9:45 集合	◎		
建 築 大 工	大工工事作業	R8.2.8 9:45 集合	◎		
か わ ら ぶ き	かわらぶき作業	R8.2.8 9:45 集合	◎		
配 管	建築配管作業	R8.1.25 9:45 集合	◎		R8.1.25 13:00 集合
配 管	プラント配管作業	R8.1.25 9:45 集合	◎		R8.1.25 13:00 集合
型 枠 施 工	型枠工事作業	R8.1.25 9:45 集合	◎		①R8.1.25 13:00 集合
鉄 筋 施 工	鉄筋施工図作成作業	R8.2.8 13:00 集合	R8.1.18 8:45 集合		
鉄 筋 施 工	鉄筋組立て作業	R8.2.8 13:00 集合	◎		
コ ン ク リ ー ト 圧 送 施 工	コンクリート圧送工事作業	R8.2.8 13:00 集合		R8.1.18 8:45 集合	R8.1.18 9:55 集合
防 水 施 工	塩化ビニル系シート防水工事作業	R8.2.1 9:45 集合	◎		
防 水 施 工	改質アスファルトシート工法防水工事作業	R8.2.1 9:45 集合	◎		
樹 脂 接 着 剤 注 入 施 工	樹脂接着剤注入工事作業	R8.2.8 9:45 集合	◎		
カ ー テ ン ウ ォ ール 施 工	金属製カーテンウォール工事作業	R8.2.1 9:45 集合		R8.1.18	R8.1.18 8:45 集合

1級・2級（実技試験概要はP14をご覧ください）

※受検票の実技試験欄は旧名称で記載されています

職 種 名	作 業 名	学科試験日	実技試験日		
			製作等作業試験 (旧作業試験)	判断等試験 (旧要素試験)	計画立案等作業試験 (旧ペーパーテスト)
機 械・プ ラ ン ト 製 図	機械製図手書き作業	R8. 2. 1 9:45 集合	R8. 1. 25		
機 械・プ ラ ン ト 製 図	機械製図CAD作業	R8. 2. 1 9:45 集合	R8. 1. 25		
電 気 製 図	配電盤・制御盤製図作業	R8. 2. 8 9:45 集合	R8. 1. 25 8:45 集合		
塗 装	鋼橋塗装作業	R8. 2. 8 9:45 集合	◎		
広 告 美 術 仕 上 げ	広告面粘着シート仕上げ作業	R8. 2. 8 13:00 集合	◎		
義 肢 ・ 装 具 製 作	義肢製作作業	R8. 2. 8 9:45 集合	◎		
義 肢 ・ 装 具 製 作	装具製作作業	R8. 2. 8 9:45 集合	◎		

単一等級（実技試験概要はP15をご覧ください）

※受検票の実技試験欄は旧名称で記載されています

職 種 名	作 業 名	学科試験日	実技試験日		
			製作等作業試験 (旧作業試験)	判断等試験 (旧要素試験)	計画立案等作業試験 (旧ペーパーテスト)
電 子 回 路 接 続	電子回路接続作業	R8. 2. 8 9:45 集合	◎		
パ ル コ ニ ー 施 工	金属製バルコニー工事作業	R8. 2. 1 13:00 集合		R8. 1. 18	R8. 1. 18 8:45 集合

3級（実技試験概要はP15～16をご覧ください）

※受検票の実技試験欄は旧名称で記載されています

職 種 名	作 業 名	学科試験日	実技試験日		
			製作等作業試験 (旧作業試験)	判断等試験 (旧要素試験)	計画立案等作業試験 (旧ペーパーテスト)
造 園	造園工事作業	R8. 2. 1 13:00 集合	◎	◎	
機 械 加 工	普通旋盤作業	R8. 2. 8 9:45 集合	◎		
機 械 検 査	機械検査作業	R8. 2. 8 13:00 集合	◎		
電 子 機 器 組 立 て	電子機器組立て作業	R8. 2. 8 13:00 集合	◎		
電 気 機 器 組 立 て	配電盤・制御盤組立て作業	R8. 1. 25 9:45 集合	◎		
※シ ー ケ ン ス 制 御 (R4年度まで電気機器組立て)	シーケンス制御作業	R8. 1. 25 9:45 集合	◎		
プ リ ン ト 配 線 板 製 造	プリント配線板設計作業	R8. 2. 8 9:45 集合		R8. 1. 25	
冷 凍 空 気 調 和 機 器 施 工	冷凍空調和機器施工作業	R8. 2. 1 9:45 集合	◎		
和 裁	和服製作作業	R8. 2. 1 9:45 集合	◎		
家 具 製 作	家具手加工作業	R8. 2. 1 13:00 集合	◎		
建 築 大 工	大工工事作業	R8. 2. 8 9:45 集合	◎		
か わ ら ぶ き	かわらぶき作業	R8. 2. 8 9:45 集合	◎		
配 管	建築配管作業	R8. 1. 25 9:45 集合	◎		
型 枠 施 工	型枠工事作業	R8. 1. 25 9:45 集合	◎		
鉄 筋 施 工	鉄筋施工図作成作業	R8. 2. 8 13:00 集合	R8. 1. 18 8:45 集合		
鉄 筋 施 工	鉄筋組立て作業	R8. 2. 8 13:00 集合	◎		
テ ク ニ カ ル イ ラ ス ト レ ー シ ョ ン	テクニカルイラストレーション手書き作業	R8. 2. 8 9:45 集合	R8. 1. 18 8:45 集合		
テ ク ニ カ ル イ ラ ス ト レ ー シ ョ ン	テクニカルイラストレーションCAD作業	R8. 2. 8 9:45 集合	R8. 1. 18 8:45 集合		
機 械・プ ラ ン ト 製 図	機械製図手書き作業	R8. 2. 1 9:45 集合	R8. 1. 25		
機 械・プ ラ ン ト 製 図	機械製図CAD作業	R8. 2. 1 9:45 集合	R8. 1. 25		
電 気 製 図	配電盤・制御盤製図作業	R8. 2. 8 9:45 集合	R8. 1. 25 8:45 集合		
貴 金 属 装 身 具 製 作	貴金属装身具製作作業	R8. 2. 1 13:00 集合	◎		
広 告 美 術 仕 上 げ	広告面粘着シート仕上げ作業	R8. 2. 8 13:00 集合	◎		
写 真	肖像写真デジタル作業	R8. 2. 8 13:00 集合	◎		

受 検 資 格

受検資格は、当該検定職種に関する実務経験が必要で、検定職種に関する学歴・職業訓練歴・指導員免許等により短縮されています。（実務経験年数を算出する場合は、卒業証書、修了証書、免許証、合格証書等の交付年月日を起算日とします。）

技能検定の受検に必要な実務経験年数

(単位：年)

受 検 対 象 者 (※1)	1 級		2 級(※6)		3 級	単一等級	特級	
	2 級 合格後	3 級 合格後		3 級 合格後	(※6)			1 級 合格後
実 務 経 験 の み ※以下の各欄に該当する者以外は全て実務経験のみでの資格判定となります。	7	2	4	2	0	※7	3	
専門高校（検定職種に関する学科）卒業（※2）又は専修学校〔大学入学資格付与課程（検定職種に関する学科）に限る〕卒業	6	2	4	0	0	0	1	
短大・高等専門学校・高校専攻科（検定職種に関する学科）卒業（※2）、専門職大学前期課程（検定職種に関する学科）修了又は専修学校〔大学編入資格付与課程（検定職種に関する学科）に限る〕卒業	5	2	4	0	0	0	0	
大学（検定職種に関する学科）卒業（専門職大学前期課程修了者を除く）（※2）又は専修学校〔大学院入学資格付与課程（検定職種に関する学科）に限る〕卒業	4	2	4	0	0	0	0	
専修学校（※3）又は各種学校 （検定職種に関する学科）卒業 （厚生労働大臣が指定したものに限る。）	800時間以上 1,600時間以上 3,200時間以上	6 5 4	2 2 4	4 4 4	0 0 0	0 0 0	※8 ※8 ※8	1 1 0
短期課程の普通職業訓練 （検定職種に関する訓練科）修了（※4）（※9）	700時間以上	6	2	4	0	0	0	※5 1
普通課程の普通職業訓練 （検定職種に関する訓練科）修了（※4）（※9）	2,800時間未満 2,800時間以上	5 4	2 2	4 4	0 0	0 0	0 0	1 0
専門課程又は特定専門課程の高度職業訓練（検定職種に関する訓練科）修了（※4）（※9）		3	1	2	0	0	0	0
応用課程又は特定応用課程の高度職業訓練（検定職種に関する訓練科）修了（※9）		1		0	0	0	0	0
指導員養成課程の指導員養成訓練（検定職種に関する訓練科）修了（※9）		1		0	0	0	0	0
職業訓練指導員免許（検定職種に関する免許職種）取得		1		—	—	—	0	0
高度養成課程の指導員養成訓練修了（※9）		0		0	0	0	0	0

5

※1：検定職種に関する学科、訓練科又は免許職種に限る。

※2：学校教育法による大学、短期大学又は高等学校と同等以上と認められる外国の学校又は他法令学校を卒業した者並びに独立行政法人大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者は学校教育法に基づくそれぞれのものに準ずる。

※3：大学入学資格付与課程、大学編入資格付与課程及び大学院入学資格付与課程の専修学校を除く。

※4：職業訓練法の一部を改正する法律（昭和53年法律第40号）の施行前に、改正前の職業訓練法に基づく高等訓練課程又は特別高等訓練課程の養成訓練を修了した者は、それぞれ改正後の職業能力開発促進法に基づく普通課程の普通職業訓練又は専門課程の高度職業訓練を修了したものとみなす。また、職業能力開発促進法の一部を改正する法律（平成4年法律第67号）の施行前に、改正前の職業能力開発促進法に基づく専門課程の養成訓練を修了した者は、専門課程の高度職業訓練を修了したものとみなし、改正前の職業能力開発促進法に基づく普通課程の養成訓練又は職業転換課程の能力再開発訓練（いずれも800時間以上のものに限る。）を修了した者はそれぞれ改正後の職業能力開発促進法に基づく普通課程又は短期課程の普通職業訓練を修了したものとみなす。

※5：総訓練時間が700時間未満のものを含む。

※6：3級（前期又は後期の期間にかかわらず随時実施するものは除く。）技能検定については、上記のほか、検定職種に関する学科に在学する者及び検定職種に関する訓練科において職業訓練を受けている者等も受検できる。また、工業高等学校に在学する者等であって、かつ、工業高等学校の教員等による検定職種に係る講習を受講し、当該講習の責任者から技能検定試験受検に際して安全衛生上の問題等がないと判定されたものも受検できる。

※7：検定職種に関し実務の経験を有する者について、受検資格を認めることとする。

※8：当該学校が厚生労働大臣の指定を受けたものであるか否かに関わらず、受検資格を付与する。

※9：職業能力開発促進法第92条に規定する職業訓練又は指導員訓練に準ずる訓練の修了者においても、修了した職業訓練又は指導員訓練の訓練課程に応じ、受検資格を付与する。

注1：実技試験の概要（P10～P16）で **免許又は技能講習** **特別教育** のマークのある作業については、資格証等を携帯していなければ受検できません。

注2：受検資格の実務経験年数については、申請受付最終日の**令和7年10月15日**を基準日としてご判断ください。

注3：受検資格について不明な点は、長崎県職業能力開発協会までお問い合わせください。

試験の免除資格

技能検定試験の免除一覧表

1. 技能検定関係（同一の検定職種に限る。）

対象者		技能検定試験の免除の範囲					備考
		特級	1級	2級	3級	単一等級	
特級	実技試験のみ合格	実技の全部	---	---	---	---	実技試験又は学科試験に合格した日から5年間（最終年にあつては年度終わりまで）有効
	学科試験のみ合格	学科の全部	---	---	---	---	
1級	技能検定合格	---	学科の全部			---	同一の検定職種において1・2・3級全作業の学科免除
	実技試験のみ合格	---	実技の全部			---	選択科目（作業）のある検定職種の場合には、同一の選択科目（作業）に限る
	学科試験のみ合格	---	学科の全部			---	
2級	技能検定合格	---	学科の全部			---	同一の検定職種において2・3級全作業の学科免除
	実技試験のみ合格	---	実技の全部			---	選択科目（作業）のある検定職種の場合には、同一の選択科目（作業）に限る
	学科試験のみ合格	---	学科の全部			---	
3級	技能検定合格	---	---	学科の全部		---	同一の検定職種において3級全作業の学科免除
	実技試験のみ合格	---	---	実技の全部		---	選択科目（作業）のある検定職種の場合には、同一の選択科目（作業）に限る
	学科試験のみ合格	---	---	学科の全部		---	
単一等級	技能検定合格	---	---	---	学科の全部		同一の検定職種において単一等級全作業の学科免除
	実技試験のみ合格	---	---	---	実技の全部		選択科目（作業）のある検定職種の場合には、同一の選択科目（作業）に限る
	学科試験のみ合格	---	---	---	学科の全部		

2. 職業能力開発行政関係（検定職種に関する訓練科又は免許職種に限る。）

対象者			技能検定試験の免除の範囲					備考
			特級	1級	2級	3級	単一等級	
指導員試験合格又は指導員免許取得			---	学科の全部			学科の全部	
応用課程又は特定応用課程の高度職業訓練における技能照査合格	技能照査合格後実務経験年数	5年	---	学科の全部			学科の全部	※2
		2年	---	学科の全部			学科の全部	※2
専門課程又は特定専門課程の高度職業訓練における技能照査合格	技能照査合格後実務経験年数	4年	---	学科の全部			学科の全部	※2
		1年	---	学科の全部			学科の全部	※2
普通課程の普通職業訓練における技能照査合格	技能照査合格後2年（2,800時間以上なら1年）の実務経験	---	---	学科の全部			学科の全部	※2
		---	---	学科の全部			学科の全部	※2
短期課程の普通職業訓練について修了時試験合格かつ修了	1級技能士コース		---	学科の全部			---	※2
	2級技能士コース		---	学科の全部			---	※2
	単一等級技能士コース		---	---	---		学科の全部	※2
技能五輪全国大会における技能証			---	実技の全部		---	実技の全部	
技能五輪地方大会における技能証			---	---	実技の全部		---	※1
全国障害者技能競技大会	実技部門の技能証		---	---	実技の全部		---	※1
	学科部門の技能証		---	---	学科の全部		---	※1

※1：平成16年10月21日が有効期限内である技能証は、その有効期限が過ぎたものであっても有効（H16厚労告376附則第2項及び第3項）
 ※2：職業能力開発促進法第92条に規定する職業訓練に準ずる訓練における技能照査又は修了時試験の合格者においても、技能照査又は修了時試験に合格した職業訓練の訓練課程に応じて、試験を免除する。

3. 他法令関係

対象者		技能検定試験の免除の範囲					備考
		特級	1級	2級	3級	単一等級	
建築士法による1級建築士試験若しくは2級建築士試験に合格した者又は1級建築士若しくは2級建築士の免許を受けた者		---	建築大工職種及びブロック建築職種に係る学科試験の全部			---	---
建築士法による木造建築士試験に合格した者又は木造建築士の免許を受けた者		---	建築大工職種に係る学科試験の全部			---	---
東京商工会議所が行う和裁に関する技能検定	1級の技能検定	---	和裁職種に係る実技試験の全部			---	---
	2級の技能検定	---	---	和裁職種に係る実技試験の全部		---	---

技能五輪

技能五輪全国大会は、青年技能者（原則23才以下）が技能を競うことにより技能の重要性をアピールし、技能尊重の機運を醸成することを目的に開催されます。

今回の長崎県大会は、第64回技能五輪全国大会（令和8年12月上旬愛知県にて開催予定）へ参加する本県の代表選手を選抜するために行います。

1 競技職種と参加手数料

全国大会競技職種名	関連する技能検定職種	実技試験の作業名	参加手数料
冷凍空調技術	冷凍空気調和機器施工	冷凍空気調和機器施工作業	9,200円
建築大工	建築大工	大工工事作業	
配管	配管	建築配管作業	
機械製図	機械・プラント製図	機械製図CAD作業	
電工	(技能五輪単独職種)		18,200円
西洋料理	(技能五輪単独職種)		
電気溶接	(技能五輪単独職種)		詳細につきましては 当協会へお問合せください

2 参加資格

平成15年（2003年）1月1日以降に生まれた者。

3 参加の手続き

技能検定受検申請書に、技能検定の手続きに準じて記入して下さい。また、等級区分は赤字で「五輪」と記載して下さい。参加手数料は、申請期間内に納めてください。

申請期間は技能検定と同じく令和7年10月2日（木）から令和7年10月15日（水）〔土日、祝日は除く。〕の間です。

2級技能検定実技試験の受検申請を併せて行う方は、技能五輪についての参加手数料は不要です。（技能検定の手数は必要です。）

4 実施時期及び場所

令和7年12月5日（金）から令和8年2月15日（日）までの間で長崎県職業能力開発協会が指定します。

5 競技課題

技能検定2級実技試験と同一またはこれに準じた程度の課題とします。

6 特典

技能検定関連職種で技能五輪にのみ参加の場合、一定水準以上の成績を収めた方には「技能証」が交付されます。

この技能証を取得された方は、2級の技能検定受検時に関連職種の実技試験が免除されます。

実技試験の概要

令和7年度後期技能検定実技試験問題の概要は次のとおりですが、試験内容等につきましては、今後一部変更される場合があります。

なお、試験時間について、「試験時間 ○時間○分」と記載されている場合は、試験開始から終了までの作業可能な時間を表しています。一方、「標準時間 ○時間○分 打ち切り時間 ○時間○分」と記載されている場合は、打ち切り時間まで作業可能ですが、標準時間を超過した時間数に応じて減点されます。

また、**免許又は技能講習**のマークがあるものは、試験当日、労働安全衛生法第61条第1項又は道路交通法第84条に基づく資格証等（例：ガス溶接作業主任者免許証、ガス溶接技能講習修了証、自動車運転免許証）を携帯していなければ、原則として試験を受検することができない他、**特別教育**のマークがあるものは、試験当日、労働安全衛生法第59条第3項に基づく安全又は衛生のための特別の教育を修了した証明書等の原本若しくは写しを提示するか又は特別の教育と同等の知識及び技能を有していることを別途指定する様式により申告していただきます。

[特 級]

全職種(25職種)について、次に掲げる計画立案等作業試験を行う。
計画立案等作業試験は、工程管理、作業管理、品質管理、原価管理、安全衛生管理、作業指導及び設備管理について行う。

試験時間 3時間

[1・2級]

さく井(ロータリー式さく井工事作業)

1級 次に掲げる判断等試験及び計画立案等作業試験を行う。
(1) 判断等試験は、泥水の比重等の測定、地層の鑑定及びコンダクタの管尻の止め位置の判定、泥水及び充てん砂利の選定について行う。

試験時間 24分

(2) 計画立案等作業試験は、掘さく地質、使用機器の判定、揚水試験等について行う。

試験時間 1時間30分

2級 次に掲げる判断等試験及び計画立案等作業試験を行う。
(1) 判断等試験は、泥水の比重等の測定、地層の鑑定及びコンダクタの管尻の止め位置の判定、泥水及び充てん砂利の選定について行う。

試験時間 30分

(2) 計画立案等作業試験は、掘さく地質、使用機器の判定、揚水試験等について行う。

試験時間 1時間30分

工場板金(機械板金作業)

特別教育

1級 次に掲げる製作等作業試験を行う。
シャー及びプレスプレーキの板金加工用機械、スポット溶接機、板金加工用工具等を使用し、冷間圧延鋼板(SPCC 厚さ1.2mm)を加工して、組合わせ可能な段差のあるC形の製品(ボディ及びカバー)を製作する。

標準時間 60分 打ち切り時間 70分

2級 次に掲げる製作等作業試験を行う。
シャー及びプレスプレーキの板金加工用機械、スポット溶接機、板金加工用工具等を使用し、冷間圧延鋼板(SPCC 厚さ1.2mm)を加工して、組合わせ可能なC形の製品(ボディ及びカバー)を製作する。

標準時間 45分 打ち切り時間 55分

(注) 1、2級とも、動力プレス機械の金型の取付け等の作業に関し労働安全衛生法に基づく安全又は衛生のための特別の教育を修了した証明書等の原本若しくは写しの提示、又は特別の教育と同等の知識及び技能を有していることの申告を要する。

特別教育

工場板金(数値制御タレットパンチプレス板金作業)

1級 次に掲げる製作等作業試験を行う。
作業1 課題図面に基づき展開図、NCデータ、プログラムリストを作成する。
自動プログラミング装置(CAD/CAM)を使用する場合
標準時間 1時間30分 打ち切り時間 2時間
自動プログラミング装置(CAD/CAM)を使用しない場合
(マニュアルでGコードを作成する場合)
標準時間 3時間 打ち切り時間 3時間30分
作業2 A 作業1で作成したNCデータにより数値制御タレットパンチプレスによる打抜きを行った後、テーブル上でクランプを解放する。
B 追加図面に従って、作業2Aで作成した製品にMDI又はプログラム入力により穴加工を追加する。
標準時間 40分 打ち切り時間 50分

2級 次に掲げる製作等作業試験を行う。
作業1 課題図面に基づき、展開図、NCデータ、プログラムリストを作成する。
自動プログラミング装置(CAD/CAM)を使用する場合
標準時間 1時間30分 打ち切り時間 2時間
自動プログラミング装置(CAD/CAM)を使用しない場合
(マニュアルでGコードを作成する場合)
標準時間 2時間30分 打ち切り時間 3時間
作業2 A 作業1で作成したNCデータにより、数値制御タレットパンチプレスによる打抜きを行った後、テーブル上でクランプを解放する。
B 追加図面に従って、作業2Aで作成した製品にMDI又はプログラム入力により穴加工を追加する。
標準時間 40分 打ち切り時間 50分

(注) 1、2級とも、動力プレス機械の金型の取付け等の作業に関し労働安全衛生法に基づく安全又は衛生のための特別の教育を修了した証明書等の原本若しくは写しの提示、又は特別の教育と同等の知識及び技能を有していることの申告を要する。

ロープ加工(ロープ加工作業)

1級 次に掲げる製作等作業試験を行う。
ワイヤもっこの現寸図を作成して、ワイヤもっこを製作する。
標準時間 3時間30分 打ち切り時間 4時間
2級 次に掲げる製作等作業試験を行う。
ワイヤロープを使用して、玉掛索及びショートスプライスによるエンドレス索を製作する。
標準時間 2時間20分 打ち切り時間 2時間35分

機械検査(機械検査作業)

1級 次に掲げる製作等作業試験及び計画立案等作業試験を行う。

(1) 製作等作業試験

①外側マイクロメータ、ノギス、ハイトゲージ及びシリンダゲージを用いた部品の寸法測定(26箇所)を行う。

試験時間 13分

②歯厚マイクロメータを用いた歯車のまたぎ歯厚測定を行う。

試験時間 5分

③三針法によるねじプラグゲージの有効径測定を行う。

試験時間 3分

④外側マイクロメータの性能判定(ブロックゲージによる指示誤差(器差)及び平行度測定)を行う。

試験時間 8分

(2) 計画立案等作業試験は、高度な精密測定の際の段取り方法、測定方法及び計算式について記述式等で行う問題と品質管理の問題により行う。

試験時間 2時間

2級 次に掲げる製作等作業試験及び計画立案等作業試験を行う。

(1) 製作等作業試験

①外側マイクロメータ、ノギス、ハイトゲージ及びシリンダゲージを用いた部品の寸法測定(21箇所)を行う。

試験時間 11分

②歯厚マイクロメータを用いた歯車のまたぎ歯厚測定を行う。

試験時間 5分

③三針法によるねじプラグゲージの有効径測定を行う。

試験時間 3分

④外側マイクロメータの指示誤差(器差)測定(ブロックゲージ使用)を行う。

試験時間 6分

(2) 計画立案等作業試験は、精密測定の際の段取り方法、測定方法及び計算式について記述式等で行う問題と品質管理の問題により行う。

試験時間 1時間45分

シーケンス制御(シーケンス制御作業)

1級 次に掲げる製作等作業試験及び計画立案等作業試験を行う。

(1) 製作等作業試験は、指示された仕様に基づいて配線作業を行い、回路を完成させた後、プログラマブルコントローラ(PLC)にプログラムを入力し作動させる。

標準時間 2時間10分 打切り時間 2時間30分

(2) 計画立案等作業試験は、プログラマブルコントローラ(PLC)のプログラミングとシステム設計に関することについて行う。

試験時間 1時間

2級 次に掲げる製作等作業試験及び計画立案等作業試験を行う。

(1) 製作等作業試験は、指示された仕様に基づいて配線作業を行い、回路を完成させた後、プログラマブルコントローラ(PLC)にプログラムを入力し作動させる。

標準時間 2時間 打切り時間 2時間20分

(2) 計画立案等作業試験は、プログラマブルコントローラ(PLC)のプログラミングとシステム設計に関することについて行う。

試験時間 1時間

半導体製品製造(集積回路チップ製造作業)

1級 次に掲げる判断等試験を行う。

エッチング、フォトリソグラフィ、CVD、スパッタリング、酸化拡散、熱処理及び測定装置、イオン注入、薬品・ガス(洗浄)、防塵管理・ユーティリティ管理、CMP等に関する判定等について行う。

試験時間 1時間30分

2級 次に掲げる判断等試験を行う。

エッチング、フォトリソグラフィ、CVD、スパッタリング、酸化拡散、熱処理及び測定装置、イオン注入、薬品・ガス(洗浄)、防塵管理・ユーティリティ管理、CMP等に関する判定等について行う。

試験時間 1時間30分

プリント配線板製造(プリント配線板設計作業)

1級 次に掲げる判断等試験を行う。

プリント配線板設計における「前処理(仕様、部品特性、段取り等)」、「配置・配線(パターン、回路特性、ノイズや熱対策等)」、「後処理(シミュレーション、検図、出力等)」の各作業工程における判断、判定等を行う。

試験時間 1時間20分

2級 次に掲げる判断等試験を行う。

プリント配線板設計における「前処理(仕様、部品特性、段取り等)」、「配置・配線(パターン、回路特性、ノイズや熱対策等)」、「後処理(シミュレーション、検図、出力等)」の各作業工程における判断、判定等を行う。

試験時間 1時間20分

空気圧装置組立て(空気圧装置組立て作業)

1級 次に掲げる判断等試験及び計画立案等作業試験を行う。

(1) 判断等試験は、空気圧回路図の判定、検出器(センサ)の判定、空気圧アクチュエータの判定等について行う。

試験時間 45分

(2) 計画立案等作業試験は、空気圧回路図の読図、装置の調整及び保守点検方法、空気圧装置に関する計算等について行う。

試験時間 2時間

2級 次に掲げる判断等試験及び計画立案等作業試験を行う。

(1) 判断等試験は、検出器(センサ)の判定、電磁弁の判定、空気圧機器の判定等について行う。

試験時間 45分

(2) 計画立案等作業試験は、簡単な空気圧回路図の読図、装置の調整及び保守点検方法、空気圧装置に関する計算等について行う。

試験時間 2時間

油圧装置調整(油圧装置調整作業)

1級 次に掲げる製作等作業試験及び計画立案等作業試験を行う。

(1) 製作等作業試験は、油圧装置(ベースにブラケット2個)の据付け(心出し)を行う。

標準時間 1時間 打切り時間 1時間20分

(2) 計画立案等作業試験は、油圧回路図の読図及び作成、油圧装置の運転調整及び故障発見、油圧機器の機能等について行う。

試験時間 2時間

2級 次に掲げる製作等作業試験及び計画立案等作業試験を行う。

(1) 製作等作業試験は、油圧装置(ベースにブラケット1個)の据付け(心出し)を行う。

標準時間 1時間 打切り時間 1時間20分

(2) 計画立案等作業試験は、油圧回路図の読図及び作成、油圧装置の運転調整及び故障発見、油圧機器の機能等について行う。

試験時間 2時間

農業機械整備(農業機械整備作業)

- 1級 次に掲げる製作等作業試験及び計画立案等作業試験を行う。
- (1) 製作等作業試験は、電気回路の不良箇所の判定、トラクタの不良箇所の整備、電気回路の配線、傾斜検出センサによる出力電圧の測定、トラクタのバッテリー電圧・充電電圧の測定及びトラクタの点検について行う。

試験時間 50分

- (2) 計画立案等作業試験は、トラクタ、コンバイン、乾燥機等に関し、予防・保守整備、工数見積り及び溶接等の基礎技能について行う。また、乾燥機及びコンバインに関し、故障箇所の発見、故障箇所の整備、点検・調整及び機能の確認について行う。

試験時間 1時間

- 2級 次に掲げる製作等作業試験及び計画立案等作業試験を行う。

- (1) 製作等作業試験は、電気回路の不良箇所の判定、電磁バルブの整備、電気回路の配線、インジェクションノズルの噴射圧力の調整、可変抵抗器の回転角度による抵抗測定、導線の導通テスト及び抵抗測定、トラクタの点検について行う。

試験時間 1時間5分

- (2) 計画立案等作業試験は、トラクタ、コンバイン、乾燥機等に関し、予防・保守整備及び溶接等の基礎技能について行う。また、乾燥機及びコンバインに関し、故障箇所の発見、故障箇所の整備、点検・調整及び機能の確認について行う。

試験時間 1時間

免許又は技能講習

冷凍空気調和機器施工(冷凍空気調和機器施工作業)

- 1級 次に掲げる製作等作業試験及び計画立案等作業試験を行う。

- (1) 製作等作業試験は、銅管及び継手を使用して、フレア加工、曲げ加工、ろう付け等により立体的な冷凍空調設備の配管作業及び気密試験を行う。

標準時間 1時間30分 打ち切り時間 2時間

- (2) 計画立案等作業試験は、冷凍空気調和機器の機能、構造及び故障の発見等について行う。

試験時間 1時間30分

- 2級 次に掲げる製作等作業試験及び計画立案等作業試験を行う。

- (1) 製作等作業試験は、銅管及び継手を使用して、フレア加工、曲げ加工、ろう付け等により平面的な冷凍空調設備の配管作業及び気密試験を行う。

標準時間 1時間30分 打ち切り時間 2時間

- (2) 計画立案等作業試験は、冷凍空気調和機器の機能、構造及び故障の発見等について行う。

試験時間 1時間30分

(注) 製作等作業試験については、1、2級とも、労働安全衛生法に基づくガス溶接作業主任者免許証又はガス溶接技能講習修了証その他資格を証する書面の携帯を要する。

和裁(和服製作作業)

- 1級 次に示す作業1(女子用下げあわせ長着の縫製)及び作業2(部分縫い)を行う。

作業1 ア 表地は、正絹のちりめん又はりんずの付下げ(訪問着も可)とし、上前身ごろと衽に模様合わせ(ぼかし模様のみは除く)のあるものとする。

イ 裏地は、正絹とする。

ウ 事前に縫い上げて持参するものは、次のとおりとする。ただし、手縫いで行う。

右袖(しつけ含む)と表裏の素縫い(表裏のえり付けと共にえり掛け(しつけ含む)を含む。)まで。

(胴裏大巾の場合、背縫いは自由とする。通し裏は、使用できない。)

エ 試験場で行うものは、次のとおりとする。

左袖と裾合わせからたたみ上げまで。

作業2 部分縫いは、表地(検印のあるもの)に色物のしんもす、裏地(検印のあるもの)に白のしんもすを用いて、都えりの上前を縫製する。

試験時間 6時間

- 2級 女子用あわせ長着の縫製を行う。

ア 表地は、正絹のちりめん、羽二重又はりんず(紬又はこれに類似したものを除く)とする。

イ 裏地は、正絹とする。

ウ 事前に縫い上げて持参するものは、次のとおりとする。ただし、手縫いで行う。

両袖(しつけ含む)と表裏の素縫い(表裏のえり付けと共にえり掛け(しつけ含む)を含む。)まで。

(胴裏大巾の場合、背縫いは自由とする。通し裏は、使用できない。)

エ 試験場で行うものは、次のとおりとする。

裾合わせからたたみ上げまで。

試験時間 4時間30分

帆布製品製造(帆布製品製造作業)

- 1級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

円すい曲面形装飾用テントを製作する。

標準時間 4時間30分 打ち切り時間 5時間

- 2級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

円すい曲面形装飾用テントを製作する。

標準時間 3時間30分 打ち切り時間 4時間

プリプレス(DTP作業)

- 1級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

DTPシステムを用いて、提示された指定書により、支給された課題データを組版・編集し、PDF/X-1a又はPDF/X-4を作成してカラープリンタにより出力する。

標準時間 3時間 打ち切り時間 3時間30分

- 2級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

DTPシステムを用いて、提示された指定書により、支給された課題データを組版・編集し、PDF/X-1a又はPDF/X-4を作成してカラープリンタにより出力する。

標準時間 1時間45分 打ち切り時間 2時間

石材施工(石材加工作業)

- 1級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

中硬石又は硬石を使用して、浮彫り紋様のある石製品を製作する。ただし、みがき加工は行わない。

中硬石の場合 標準時間 3時間40分 打ち切り時間 4時間

硬石の場合 標準時間 6時間 打ち切り時間 6時間30分

- 2級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

中硬石又は硬石を使用して、沈み彫り紋様のある石製品を製作する。ただし、みがき加工は行わない。

中硬石の場合 標準時間 2時間40分 打ち切り時間 3時間

硬石の場合 標準時間 4時間10分 打ち切り時間 4時間40分

建築大工(大工工事作業)

- 1級 次に掲げる製作等作業試験を行う。
隅木小屋組の平面図、隅木小屋組のひよどり栓さし隅木及び配付たる木の現寸展開図を作成し、木ごしらえ及び墨付けをした後、加工組立てを行う。
標準時間 4時間50分 打切り時間 5時間
- 2級 次に掲げる製作等作業試験を行う。
屋根筋かいを用いた小屋組の平面図、振たる木、屋根筋かいの現寸展開図及び基本図を作成し、木ごしらえ及び墨付けをした後、加工組立てを行う。
標準時間 3時間30分 打切り時間 3時間45分

かわらぶき(かわらぶき作業)

- 1級 次に掲げる製作等作業試験を行う。
屋根下地に、引掛け葺きにより瓦葺き作業を行う。
なお、軒先には、一文字軒瓦を使用する。
標準時間 4時間 打切り時間 4時間30分
- 2級 次に掲げる製作等作業試験を行う。
屋根下地に、引掛け葺きにより瓦葺き作業を行う。
なお、軒先には、万十軒瓦を使用する。
標準時間 4時間 打切り時間 4時間30分

配管(建築配管作業)

- 1級 次に掲げる製作等作業試験及び計画立案等作業試験を行う。
(1) 製作等作業試験は、給水配管図に従い、エルボ、T(チーズ)等の管継手を使用して配管用炭素鋼鋼管、水道用硬質ポリ塩化ビニル管及び銅管の組立てを行う。
標準時間 3時間30分 打切り時間 3時間50分
(2) 計画立案等作業試験は、配管図から材料を拾い出して、材料表を作成する。
試験時間 2時間
- 2級 次に掲げる製作等作業試験及び計画立案等作業試験を行う。
(1) 製作等作業試験は、給水配管図に従い、エルボ、T(チーズ)等の管継手を使用して配管用炭素鋼鋼管、水道用硬質ポリ塩化ビニル管及び銅管の組立てを行う。
標準時間 2時間30分 打切り時間 2時間50分
(2) 計画立案等作業試験は、配管図から材料を拾い出して、材料表を作成する。
試験時間 2時間

免許又は技能講習(鋼管課題の場合)

配管(プラント配管作業)

特別教育(鋼管課題の場合)

- 1級 次に掲げる製作等作業試験及び計画立案等作業試験を行う。
(1) 製作等作業試験は、配管用炭素鋼鋼管(3B)又は水道用硬質ポリ塩化ビニル管(呼び径75)等をエルボ、フランジ等の管継手で組み立て、アーク溶接の仮付け又は接着によりプラント配管系統の一部を製作する作業を行う。
標準時間 4時間 打切り時間 4時間30分
(2) 計画立案等作業試験は、アイソメ図の作成及び作業手順、アイソメ図等による工数等の見積りについて行う。
試験時間 2時間
- 2級 次に掲げる製作等作業試験及び計画立案等作業試験を行う。
(1) 製作等作業試験は、配管用炭素鋼鋼管(3B・2B)又は水道用硬質ポリ塩化ビニル管(呼び径75・呼び径50)等をエルボ、フランジ等の管継手で組み立て、アーク溶接の仮付け又は接着によりプラント配管系統の一部を製作する作業を行う。
標準時間 3時間30分 打切り時間 4時間
(2) 計画立案等作業試験は、配管図による材料取り及び現図型取りについて行う。
試験時間 2時間

(注) 製作等作業試験で鋼管課題の場合(鋼管課題とは、配管用炭素鋼鋼管を使用する製作等作業試験問題を示す。)

① 1、2級とも、労働安全衛生法に基づくガス溶接作業主任者免許証又はガス溶接技能講習修了証その他資格を証する書面の携帯を要する。
② 1、2級とも、アーク溶接等の作業に関し労働安全衛生法に基づく安全又は衛生のための特別の教育を修了した証明書等の原本若しくは写しの提示、又は特別の教育と同等の知識及び技能を有していることの申告を要する。

型枠施工(型枠工事作業)

- 1級 次に掲げる製作等作業試験及び計画立案等作業試験を行う。
(1) 製作等作業試験は、型起こし台(合板パネル)上に、基礎型枠の下ごしらえ及び組立てを行う。
標準時間 4時間40分 打切り時間 5時間
(2) 計画立案等作業試験は、躯体図及び仕様等に従い、型枠加工図(下ごしらえ図)に必要な寸法、パイプサポートの位置等を記入する。
試験時間 2時間
- 2級 次に掲げる製作等作業試験を行う。
型起こし台(合板パネル)上に、基礎型枠の下ごしらえ及び組立てを行う。
標準時間 4時間 打切り時間 4時間20分

鉄筋施工(鉄筋施工図作成作業)

- 1級 次に掲げる製作等作業試験を行う。
2階建て鉄筋コンクリート造の建築物の基礎伏図、はり・床伏図、各部断面リスト等に基づき、作図例に従って、柱、大はり及び小ばりの鉄筋施工図並びに加工絵符(えふ)の作成について行う。
試験時間 3時間
- 2級 次に掲げる製作等作業試験を行う。
2階建て鉄筋コンクリート造の建築物のはり・床伏図、断面リスト等に基づき、作図例に従って、スラブの鉄筋施工図及び加工絵符(えふ)の作成について行う。
試験時間 2時間30分

鉄筋施工(鉄筋組立て作業)

- 1級 次に掲げる製作等作業試験を行う。
曲げ加工した鉄筋を使用し、図面及び仕様に従い、基礎、柱及びはりの取合部の鉄筋の組立てを行う。
標準時間 1時間40分 打切り時間 2時間10分
- 2級 次に掲げる製作等作業試験を行う。
曲げ加工した鉄筋を使用し、図面及び仕様に従い、基礎、柱及びはりの取合部の鉄筋の組立てを行う。
標準時間 1時間20分 打切り時間 1時間40分

コンクリート圧送施工(コンクリート圧送工事作業)

- 1級 次に掲げる判断等試験及び計画立案等作業試験を行う。
(1) 判断等試験は、写真、イラスト等を利用して、コンクリートポンプに関する設問、工事の計画と実施に関する設問、コンクリートの性質に関する設問等について行う。
試験時間 50分
(2) 計画立案等作業試験は、コンクリートポンプの性能と圧送計画、コンクリートの圧送条件・計画、コンクリートの品質、配管計画及び作業等について行う。
試験時間 2時間
- 2級 次に掲げる判断等試験及び計画立案等作業試験を行う。
(1) 判断等試験は、写真、イラスト等を利用して、コンクリートポンプに関する設問、工事の計画と実施に関する設問、コンクリートの性質に関する設問等について行う。
試験時間 50分
(2) 計画立案等作業試験は、コンクリートの性質、スクイズ式コンクリートポンプの構造、コンクリートポンプ車の点検・検査、コンクリートの圧送条件・計画等について行う。
試験時間 2時間

防水施工(塩化ビニル系シート防水工事作業)

- 1級 次に掲げる製作等作業試験を行う。
試験台の平場、立上がり及び貫通配管回りの各部に接着工法及び機械的固定工法による塩化ビニル系シート防水工事作業を行う。
標準時間 1時間50分 打切り時間 2時間20分
- 2級 次に掲げる製作等作業試験を行う。
試験台の平場及び立上がりの各部に接着工法及び機械的固定工法による塩化ビニル系シート防水工事作業を行う。
標準時間 1時間50分 打切り時間 2時間20分

防水施工(改質アスファルトシートトーチ工法防水工事業業)

- 1級 次に掲げる製作等作業試験を行う。
試験台の平場、立上がり及び貫通配管回りの各部に改質アスファルトシートトーチ工法防水工事業業を行う。
標準時間 2時間 打ち切り時間 2時間30分
- 2級 次に掲げる製作等作業試験を行う。
試験台の平場及び立上がりの各部に改質アスファルトシートトーチ工法防水工事業業を行う。
標準時間 2時間 打ち切り時間 2時間30分

樹脂接着剤注入施工(樹脂接着剤注入工事業業)

- 1級 次に掲げる製作等作業試験を行う。
(1) 建築物外壁を想定した試験架台に、浮き部の穿孔(せんこう)及びエポキシ樹脂の注入作業、ひび割れ部の自動式低圧注入作業、ひび割れ部のUカットシール材充填作業並びに欠損部の補修作業を行う。
標準時間 1時間40分 打ち切り時間 2時間
(2) 建築物外壁を想定した試験架台のタイル浮き調査(打診検査)を行う。
標準時間 3分 打ち切り時間 5分
- 2級 次に掲げる製作等作業試験を行う。
建築物外壁を想定した試験架台に、浮き部の穿孔(せんこう)及びエポキシ樹脂の注入作業、ひび割れ部の自動式低圧注入作業並びにひび割れ部のUカットシール材充填作業を行う。
標準時間 1時間10分 打ち切り時間 1時間30分

カーテンウォール施工(金属製カーテンウォール工事業業)

- 1級 次に掲げる判断等試験及び計画立案等作業試験を行う。
(1) 判断等試験は、写真、図面、実物材料等により、ファスナー取付けの判定、吊込み方法等の判定、カーテンウォール断面の判定、あと施工アンカーの判定、先付けアンカー納まりの判定、各部納まりの判定、取付け墨の判定等について行う。
試験時間 27分
(2) 計画立案等作業試験は、図面によりカーテンウォールの施工手順、施工方法、人員計画等について行う。
試験時間 2時間
- 2級 次に掲げる判断等試験及び計画立案等作業試験を行う。
(1) 判断等試験は、写真、図面、実物材料等により、ファスナー取付けの判定、カーテンウォール断面の判定、あと施工アンカーの判定、先付けアンカー納まりの判定、各部納まりの判定、吊込み方法等の判定等について行う。
試験時間 18分
(2) 計画立案等作業試験は、図面によりカーテンウォールの施工手順、施工方法、人員計画等について行う。
試験時間 2時間

機械・プラント製図(機械製図手書き作業)

- 1級 次に掲げる製作等作業試験を行う。
実技試験問題(計算問題を含む)及び課題図(機械装置を組み立てた状態の図面)から、指定された部品図を手書きにより作成する。
試験時間 5時間
- 2級 次に掲げる製作等作業試験を行う。
実技試験問題及び課題図(機械装置を組み立てた状態の図面)から、指定された部品図を手書きにより作成する。
試験時間 4時間

機械・プラント製図(機械製図CAD作業)

- 1級 次に掲げる製作等作業試験を行う。
実技試験問題(計算問題を含む)及び課題図(機械装置を組み立てた状態の図面)から、指定された部品図をCADにより作成する。
試験時間 5時間
- 2級 次に掲げる製作等作業試験を行う。
実技試験問題及び課題図(機械装置を組み立てた状態の図面)から、指定された部品図をCADにより作成する。
試験時間 4時間

電気製図(配電盤・制御盤製図作業)

- 1級 次に掲げる製作等作業試験を行う。
(1) 高圧受電設備の部品表を完成し、動力変圧器二次側の短絡電流値を求め、整定表及び過電流保護協調曲線、高圧・低圧回路の主回路概略単線接続図を作成する。
(2) 非常用発電設備(高圧用)及びその負荷となる電動機(高圧用)を制御する展開接続図を作成する。
試験時間 5時間

- 2級 次に掲げる製作等作業試験を行う。
(1) 高圧・フィード回路を収納する閉鎖配電盤の扉正面図を作成する。
(2) 2台の既設ポンプ用三相かご形誘導電動機のうち、1台を省エネのためインバータ装置付きに改造した場合の展開接続図をCWD方式で作成する。
試験時間 5時間

塗装(鋼橋塗装作業)

- 1級 次に掲げる製作等作業試験を行う。
(1) 電動工具及び手工具による旧塗膜除去作業
(2) 塗料の調合作業
(3) 旧塗膜を除去した面の塗装作業
(4) 塗膜厚測定作業
試験時間 1時間
- 2級 次に掲げる製作等作業試験を行う。
(1) 電動工具及び手工具による旧塗膜除去作業
(2) 塗料の調合作業
(3) 旧塗膜を除去した面の塗装作業
試験時間 50分

広告美術仕上げ(広告面粘着シート仕上げ作業)

- 1級 次に掲げる製作等作業試験を行う。
与えられたアルミニウム複合板(1800mm×450mm×3mm)の光沢面に、仕様及び割付け図に基づき、課題(現代的なデザインのもの)を製作する。
試験時間 5時間
- 2級 次に掲げる製作等作業試験を行う。
与えられたアルミニウム複合板(1800mm×450mm×3mm)の光沢面に、仕様及び割付け図に基づき、課題(現代的なデザインのもの)を製作する。
試験時間 4時間

義肢・装具製作(義肢製作作業)

- 1級 次に掲げる製作等作業試験を行う。
与えられた石膏塊を加工して、右大腿義足吸着式四辺形ソケットの陽性モデルを製作する。
標準時間 3時間30分 打ち切り時間 4時間

- 2級 次に掲げる製作等作業試験を行う。
与えられた陽性モデル及び材料を用い、下腿ソケット(PTB式)を製作する。
標準時間 3時間30分 打ち切り時間 4時間

義肢・装具製作(装具製作作業)

- 1級 次に掲げる製作等作業試験を行う。
陽性モデルを修正して、PTB短下肢装具(免荷装具)を製作する。
標準時間 3時間30分 打ち切り時間 4時間

- 2級 次に掲げる製作等作業試験を行う。
手背屈装具(指伸展装置付)を製作する。
標準時間 3時間30分 打ち切り時間 4時間

[単一等級]

電子回路接続(電子回路接続作業)

単一等級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

プリント配線板(以下、プリント板という)に、抵抗器、コンデンサ、トランジスタ等の電子回路用部品をはんだ付けによって接続し、プリント板の組立てを行う。また、シャーシに、電線等の電子回路用部品をねじ締め、圧着及びはんだ付けによって接続し、シャーシの組立てを行う。

ただし、この回路は電子回路としての機能を持たないものとする。

なお、環境問題から、はんだ付けには鉛フリーはんだを使用する。

標準時間 3時間 打切り時間 3時間15分

バルコニー施工(金属製バルコニー工事作業)

単一等級 次に掲げる判断等試験及び計画立案等作業試験を行う。

(1) 判断等試験は、図面、実物材料の写真等により、基礎材料の選定、取付け部材・部品の選定、バルコニーに関連する施工手順に対応する施工写真と作業内容の判定等について行う。

試験時間 36分

(2) 計画立案等作業試験は、バルコニー部材の確認、取付け寸法の算定、基礎材料の積算等について行う。

試験時間 1時間20分

[3級]

造園(造園工事作業)

3級 次に掲げる製作等作業試験及び判断等試験を行う。

(1) 製作等作業試験

指定された区画内に竹垣製作、縁石敷設及び敷石敷設、植栽の作業を行う。

標準時間 2時間 打切り時間 2時間30分

(2) 判断等試験

樹木の枝葉の部分を見て、その樹種名を判定する。

試験時間 5分

機械加工(普通旋盤作業)

3級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

普通旋盤(センチ間の最大距離が500~1500mm程度のもの)を使用し、φ60×115mm程度のS45Cの材料1個及び

φ60×55mm(φ25の穴のあいたもの)程度のS45Cの材料1個に、内外径削り、テーパ削り等の切削加工を行い、はめ合わせのできる部品を2個製作する。

なお、使用するバイトの品種は、超硬、ハイス、その他のものでもよい。

標準時間 2時間 打切り時間 2時間 30分

機械検査(機械検査作業)

3級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

作業1 外側マイクロメータ、ノギス及びシリンダゲージを用いた部品の寸法測定(16箇所)を行う。

試験時間 16分

作業2 三針法によるねじプラグゲージの有効径を測定する。

試験時間 8分

作業3 外側マイクロメータの指示誤差(器差)測定(ブロックゲージ使用)を行う。

試験時間 10分

電子機器組立て(電子機器組立て作業)

3級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

シャーシ、専用プリント配線板、IC、トランジスタ等の部品を用い、光検出器の組立てを行う。

標準時間 1時間30分 打切り時間 2時間

電気機器組立て(配電盤・制御盤組立て作業)

3級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

展開接続図により、三相誘導電動機の制御盤の組立てを行う。

標準時間 4時間 打切り時間 4時間 30分

シーケンス制御(シーケンス制御作業)

3級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

指示された仕様に基づいて配線作業を行い、回路を完成させた後、プログラマブルコントローラ(PLC)にプログラムを入力し動作させる。

標準時間 1時間 35分 打切り時間 1時間 55分

プリント配線板製造(プリント配線板設計作業)

3級 次に掲げる判断等試験を行う。

プリント配線板設計における「前処理(仕様、部品特性、段取り等)」、「配置・配線(パターン、回路特性、ノイズや熱対策等)」、「後処理(シミュレーション、検図、出力等)」の各作業工程における判断、判定等を行う。

試験時間 1時間 20分

冷凍空気調和機器施工(冷凍空気調和機器施工作業)

3級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

銅管及び継手を使用して、フレア加工、曲げ加工等により冷凍空調設備の配管作業を行う。

標準時間 1時間 30分 打切り時間 2時間

和裁(和服製作作業)

3級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

表地は自由、芯地は自由(胴裏の付くものは、裏地自由)とし、身ごろ・たてえり(下えり)付けをし、右そでを事前に縫い上げたもの(えり先布を付ける場合は、事前に付けておく)を持参し、試験場において、えり付け、まとめ等を行い、女子用そで無双あわせ長じゅばん又は胴抜き長じゅばんを仕立てる。

標準時間 3時間 打切り時間 3時間 30分

家具製作(家具手加工作業)

3級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

製作図に基づき、手工具を使用して各種仕口工作を行い、わく状の課題を製作する。

標準時間 2時間 30分 打切り時間 3時間

建築大工(大工工事作業)

3級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

仕様に従い、柱、桁、はり、棟木、隅木及び平たる木の加工組立てを行い、寄棟小屋組の一部を製作する。

標準時間 2時間 45分 打切り時間 3時間

かわらぶき(かわらぶき作業)

3級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

屋根下地に、F形粘土がわらを使用した瓦葺き作業を行う。

標準時間 2時間 40分 打切り時間 3時間

配管(建築配管作業)

3級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

給水配管図に従い、エルボ、T(チーズ)等の管継手を使用して配管用炭素鋼鋼管及び水道用硬質ポリ塩化ビニル管の組立てを行う。

(1) 作業1(配管用炭素鋼鋼管の切断・ねじ切り加工作業)

配管用炭素鋼鋼管の切断・ねじ切り加工作業を行う。

標準時間 15分 打切り時間 20分

(2) 作業2(配管用炭素鋼鋼管及び水道用硬質ポリ塩化ビニル管の組立作業等)

エルボ、T(チーズ)等の管継手を使用して配管用炭素鋼鋼管及び水道用硬質ポリ塩化ビニル管の組立てを行う。

標準時間 1時間 45分 打切り時間 2時間

型枠施工(型枠工事作業)

3級 次に掲げる製作等作業試験を行う。
型起こし台(合板パネル)上に、柱型枠の下ごしらえ及び組立てを行う。

標準時間 1時間40分 打切り時間 2時間

鉄筋施工(鉄筋施工図作成作業)

3級 次に掲げる製作等作業試験を行う。
小規模な2階建て鉄筋コンクリート造の建築物のはり・床伏図、断面リスト等に基づき、作図例に従って、スラブの鉄筋施工図及び加工絵符(えふ)の作成について行う。

試験時間 2時間

鉄筋施工(鉄筋組立て作業)

3級 次に掲げる製作等作業試験を行う。
曲げ加工した鉄筋を使用し、図面及び仕様に従い、基礎、柱及びはりの取合部の鉄筋の組立てを行う。

標準時間 1時間30分 打切り時間 1時間50分

テクニカルイラストレーション

(テクニカルイラストレーション手書き作業)

3級 次に掲げる製作等作業試験を行う。
第三角法で描かれた課題図から、等角投影図(等測投影図)で、立体外観図(姿図)を作成する。

試験時間 2時間

テクニカルイラストレーション

(テクニカルイラストレーションCAD作業)

3級 次に掲げる製作等作業試験を行う。
第三角法で描かれた課題図から、等角投影図(等測投影図)で、立体外観図(姿図)をCAD(グラフィックソフトを含む。)により作成する。

試験時間 2時間

機械・プラント製図(機械製図手書き作業)

3級 次に掲げる製作等作業試験を行う。
実技試験問題及び課題図(機械装置を組み立てた状態の図面)から、指定された部品図を手書きにより作成する。

試験時間 3時間

機械・プラント製図(機械製図CAD作業)

3級 次に掲げる製作等作業試験を行う。
実技試験問題及び課題図(機械装置を組み立てた状態の図面)から、指定された部品図をCADにより作成する。

試験時間 3時間

電気製図(配電盤・制御盤製図作業)

3級 次に掲げる製作等作業試験を行う。
制御盤の外形図、誘導電動機起動用の主回路及び制御回路の展開接続図を作成するとともに電気用図記号表等を完成させる。

試験時間 3時間

貴金属装身具製作(貴金属装身具製作作業)

3級 次に掲げる製作等作業試験を行う。
受検者が持参した材料{Ag925%(角棒、パイプ)}及び支給された材料{Agろう(五分ろう)}を使用して、指定された製作図によりリングを製作する。

試験時間 3時間

広告美術仕上げ(広告面粘着シート仕上げ作業)

3級 次に掲げる製作等作業試験を行う。
与えられたアルミニウム複合板(900mm×600mm×3mm)の光沢面に、仕様及び割付け図に基づき、課題(現代的なデザインのもの)を製作する。

試験時間 3時間

写真(肖像写真デジタル作業)

3級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

作業1 肖像写真制作

モデル(背広姿の男性)を、デジタルカメラで撮影し、画像の選択及び画像処理を行い、カラーの証明用写真を制作する。

試験時間 40分

作業2 画像修復

支給される画像データを修復する。

試験時間 15分

技能検定受検申請書

(申請書は必ず本人が記入して下さい)

該当する数字に○印をつけてください

区 分	免除なし	1	実技及び学科受験
		2	学科試験のみ受験
		3	実技試験のみ受験
	免除あり	4	学科試験のみ受験(実技免除)
		5	実技試験のみ受験(学科免除)
		6	実技及び学科の両方の免除申請

いずれかに○をつけてください

受検票・合格通知・合格証書の送付先	申請者本人住所
	申請者所属先

受付印

(右票)

(技能検定を受けたいので申請します。)

長崎県知事殿 令和 7 年 10 月 2 日 氏名 検定 太郎 印

検定職種	機械・プラント製図		等級区分	2 級	受検番号	※
実技作業名	機械製図CAD作業		※			
フリガナ	ケンテイ	タロウ	生年月日	昭 10 年 4 月 2 日	性別	男
氏名	検定	太郎	年齢及び性別	(満 27 年 6 月)		女
住所	〒 861-2107 電話 (095) 〇〇〇 - ΔΔΔΔ 携帯 (090) 〇〇〇〇 - ×××× 西彼杵郡時津町久留里郷〇〇-△ 久留里ハイツ202号 同居先 方					
受検資格	学歴	学校名	学科又は課程	所在地	在学期間	卒業、中退の別
		〇〇高等学校	機械科	長崎市岩屋町〇〇-□	H26年 4月 ~ H29年 3月 (3年 月)	卒業・見込・中退
	訓練歴	訓練施設名	訓練科	所在地	訓練を受けた期間	修了・中退の別
					年 月 ~ 年 月 (年 月)	修了・見込・中退
職歴	事業所名	地位職名	所在地	在職期間	職務内容	
	(現職) 株式会社△△	技術員	西彼杵郡時津町日並郷△△△-xx	H29年 4月 ~ 年 月 (8年 6月)	設計	
				年 月 ~ 年 月 (年 月)		
				年 月 ~ 年 月 (年 月)		
技能検定合格状況 (既に合格している者のみ記入)	等級区分	検定職種	合格した年月日		受検資格判定	※
	3	機械・プラント製図 (機械製図CAD作業)	H28年 3月 11日 第 15-3-052 42-0001 号		免除	実技
試験、検定、免許等の名称	合格し、または免許を受けた年月日及び番号		免除資格判定	実技資格判定	※	※
実技試験	年 月 日 第 号		資格判定	技術判定	※	※
学科試験	学科一部合格(機械製図CAD作業2級)		令和 6 年 3 月 8 日 第 長崎0100号	判定	※	※

検定職種	機械・プラント製図	
実技作業名	機械製図CAD作業	
等級区分	2 級	
受検番号	※	
フリガナ	ケンテイ	タロウ
氏名	検定	太郎
生年月日	昭 10 年 4 月 2 日 (27才)	
住所	〒 851-2107 西彼杵郡時津町久留里郷〇〇-△ 久留里ハイツ202号 電話 (095) 〇〇〇 - ΔΔΔΔ 携帯 (090) 〇〇〇〇 - ××××	
所属先	〒 851-2108 名称 株式会社△△ 製造部一課 住所 西彼杵郡時津町日並郷 ΔΔΔ-××× 電話 (095) ×××-〇〇〇〇	
受検資格判定	※	免除資格判定
実技	※	学科
窓口		
郵送		
現金	/	
振込	/	
写真	(3cm×4cm) 申請前6月以内に撮影した正面脱帽半身像のものとする	
実技手数料	学科手数料	
※	※	※
収納済印	収納済印	
¥	円 ¥	円

※受検申請時に【本人確認書類】の提出が必要になります。

(2・3級を受検される23歳未満の在職者の方は、上記に加え在職証明書等が必要です。)

記入上の注意

- ※印の欄には、記入しないこと。
- 記入には、インキ又はボールペンを用い、文字はかい書で、数字は算用数字を用いて、ていねいに書くこと。特に氏名は略字や俗字を用いないで、正確に記入すること。
- 検定職種の欄には、受検を希望する検定職種名を記入すること。
- 実技作業名の欄には、実技試験の試験科目に選択制がとられている検定職種を受検しようとするときのみ、受検しようとする実技作業名を記入すること。(特級の受検者は記入の必要なし。)
- 生年月日、年齢及び性別の欄の性別は、該当するものを○で囲むこと。
- 現住所は郵便物が確実に届くようにアパート名、〇〇棟〇〇号室、〇〇方等ははっきりと記入すること。
- 学歴、訓練歴及び職歴の欄には、受検資格の基礎となるので、これらの経歴を最近のものから順に記入し、書ききれないときは、適当な補助紙をつけること。
- 職歴の欄の職務内容の項には、従事していた作業をできるだけ具体的に記入すること。
- 技能検定合格状況の欄には、1・2・3級のいずれかの技能検定に合格し、それぞれ上級の技能検定を受検する者のみが記入するものとし、既に合格している等級、検定職種名及び合格年月日を記入すること。
- 試験の免除の欄には、実技試験又は学科試験の免除を受けようとするとき、該当するものを○で囲み、試験の免除を受ける資格に関係ある試験、検定、免許等の名称及び合格し、又は免許等を受けた年月日を記入すること。この場合、免除を受ける資格があることを証する書面(コピーでも可)を添付すること。
- 記入した事項に不正があったときは、合格を取り消す場合があること。

よくあるご質問（Q&A）

◆受検手数料関係◆

- Q1. 受検手数料は消費税の課税対象ですか。
- ☛A1. 受検手数料は非課税です。
- Q2. 受検手数料の金額を誤って多く振込したのですが。
- ☛A2. 誤入金を確認後、当協会から返金先等についてご連絡させていただきます。
(原則振込手数料を差し引いた金額を銀行振込にて返金いたします。)
- Q3. 試験日に都合が悪く受検できない場合、受検手数料の返還はできますか。
- ☛A3. いかなる理由があっても受検手数料の返還はできません。
ただし、申請受付期間中であれば対応が可能です。早急にご連絡ください。
- Q4. 数名分の受検手数料を一括で振込できますか。
- ☛A4. できます。その際は、内訳がわかる一覧表を振込票に添付してください。(P2 参照)

◆受検申請関係◆

- Q1. 同時に2職種（作業）受検することはできますか？
- ☛A1. 原則1職種（1作業）での受検となりますが、学科・実技試験日が重複していなければ可能です。
事前に当協会へお問合せください。
- Q2. 一部合格通知書（実技・学科）を紛失したのですが免除にできますか。
- ☛A2. 試験免除は可能です。その場合、当協会でお調べしますので、事前にお電話ください。
なお当県以外で合格されている場合は、ご自身で取得された県の協会へ問い合わせを行い合格番号、合格日を確認し、申請書に記載してください。
- Q3. 受検申請後に試験免除があることが分かったのですが免除にできますか。
- ☛A3. 申請受付期間中であれば可能です。早急にご連絡ください。受付期間をすぎた場合は免除できません。
- Q4. 一部合格は何年間有効ですか。
- ☛A4. 1・単一等・2・3級は有効期限がありませんが、特級は合格後5年間となっています。
- Q5. 既に合格している作業（技能士）とは別の作業を受検する際、何か免除対象になりますか。
- ☛A5. 同一職種の作業に合格している場合は、別の作業の受検をするにあたって、同級および下位級の学科試験が免除されます。ただし、一部合格では免除になりません。
(例：防水施工 シーリング防水工事作業の1級技能士を取得されている場合、防水施工 ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 1級もしくは2級を受検する際、学科免除となります。)

◆その他◆

- Q1. 試験日に都合が悪いため別の日に変更はできますか。
- ☛A1. 試験日の変更は原則できません。その場合「欠席」扱いとなり、受検手数料も返還できません。
- Q2. 合格証書を紛失したのですが、再発行はできますか。
- ☛A2. 合格証書の再発行は県が行いますので、長崎県雇用労働政策課（095-895-2717）までお問合せください。
- Q3. 技能検定の合否及び得点を教えてもらうことはできますか。
- ☛A3. 合格発表日以降にご本人様からの問い合わせに限りお答えすることができます。
当協会へお電話ください。
- Q4. 技能検定の合格ラインは何点ですか。
- ☛A4. 実技試験においては、100点満点中60点以上。
学科試験においては、特・1・2・単一等級は、50問中33問以上。3級は、30問中20問以上。
- Q5. 受検票、試験問題が送られてこないのですが。
- ☛A5. 受検票、試験問題は受検申請時に選択していただいた、ご自宅もしくは所属先に、受取り確認ができる方法で送付しております。届いていない場合はご連絡ください。
- Q6. 試験対策の講習会等を受講したいのですが実施していますか。
- ☛A6. 当協会主催で実施する講習会等はありません。業界団体等の主催で実施している場合がありますので、当協会にお問合せください。

技能検定過去問題の閲覧・コピーサービスのご案内

長崎県職業能力開発協会では、過去問題のコピーサービスを取り扱っております。
ぜひ試験対策にご活用ください。また試験前は、混み合うことがございますので、余裕をもってお申込みください。

①過去問題を閲覧したい場合

中央職業能力開発協会のホームページで閲覧することができます。(印刷不可)

中央職業能力開発協会 (<https://www.javada.or.jp>) → 技能検定 → <参考> 技能検定試験問題公開サイト

②過去問題のコピーサービスを申し込みたい場合

定期試験(一般)検定においては、直近3年分、随時級・基礎級に関しては、上記①で閲覧できるものに限り購入できます。
ただし、判断等試験の資料(写真)および正解を公開していないものについては、購入できません。
また、課題図がある作業においては現寸サイズでのお渡しができない場合があります。

【手数料】 1年度分 1 作業各級につき **学科**(試験問題+正解表) **1部 500 円**(税率 10%消費税額 45 円)

※同職種の異なる作業でも同じ問題の場合がありますので重複して申し込みをしないように注意してください。

【重複する職種作業例】 不明な場合は上記①の問題公開サイトで確認をお願いします。

機械加工(普通旋盤作業・数値制御旋盤作業)

鉄筋施工(鉄筋組立て作業・鉄筋施工図作成作業)

機械プラント製図(機械製図 CAD 作業・機械製図 CAD 手書き作業)

【実技】(実施される形式一式+計画立案等作業試験正解表) **1部 500 円**(税率 10%消費税額 45 円)

郵送を希望される場合は、別途送料が必要です。

※なお当協会会員の方は各年各級1部ずつ無料となります。(送料も無料となります。)

【受取り方法】

【郵送の場合】 ご入金確認後、約1週間程度で郵送いたします。(普通郵便)

【窓口受取りの場合】 直接窓口でお申込みされる場合は、お渡しまでに少々お時間をいただきますので事前に FAX していただくことをおすすめいたします。

※協会窓口で受取りは平日の 9:00~17:00となります。

★コピーサービスの申込・支払い方法

【申込方法】 申込書を FAX いただくか協会窓口へご持参ください。

振込をされる場合は、振込票の控えを申込書と一緒に FAX もしくは協会窓口へご持参ください

※申込書は当協会ホームページ <https://www.nagasaki-noukai.or.jp> からダウンロードできます。

【支払方法】 P2に記載の振込口座へお振込いただくか協会窓口で現金にてお支払いください。

振込手数料はお客様負担となります。

支払金額を確認されたい場合等、ご不明な点がございましたら当協会までお問合せください。

③技能検定問題集等(書籍)を購入したい場合

令和6年2月末日をもちまして当協会での書籍販売を終了いたしました。なお今後につきましては、引き続き下記にて販売しておりますので直接ご購入ください。

購入先

特級・3級 → 中央職業能力開発協会図書センター TEL: 03-3603-8373
URL: excell001.shop23.makeshop.jp/index.html

1・2級 → 一般社団法人 雇用問題研究会 TEL: 03-5651-7071
URL: www.koyoerc.or.jp/publication/272.html

◆問い合わせ先◆

《長崎県雇用労働政策課》

〒850-8570

長崎市尾上町 3-1

TEL：(代) 095-824-1111

(直) 095-895-2717

《長崎県職業能力開発協会》

〒851-2127

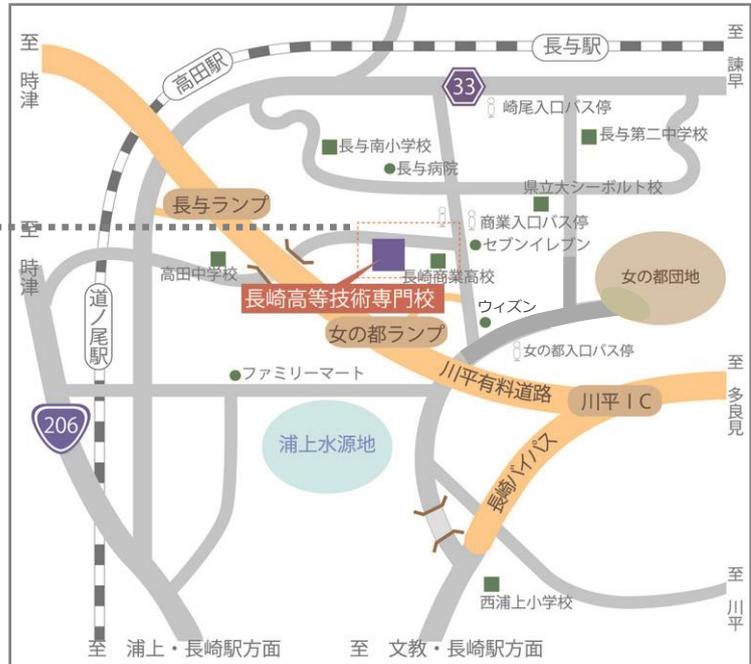
西彼杵郡長与町高田郷 547-21

技能・技術向上支援センター内 2F

(長崎高等技術専門校の敷地内です)

TEL：095-894-9971

FAX：095-894-9972



【長崎バス】

- ・ JR長崎駅より長与ニュータウン行き商業入口下車徒歩 10分
- ・ JR長与駅より長崎新地(青葉台団地経由)行き商業入口下車徒歩 10分

【県営バス】

- ・ JR長崎駅より女の都入口行き女の都入口下車徒歩 15分

【JR】

- ・ JR道ノ尾駅より徒歩 25分
- ・ JR長与駅より徒歩 20分

【車】

- ・ 川平有料道路「女の都ランプ」より約 3分